

## 令和7年度愛鳥週間用ポスター原画コンクール 本県生徒が最高賞を受賞！！

全国の小中高生を対象に実施された「令和7年度愛鳥週間用ポスター原画コンクール」(主催：(公財)日本鳥類保護連盟)において、本県の生徒が最高賞である日本鳥類保護連盟総裁賞(総裁：常陸宮殿下)を受賞しました。総裁賞の受賞は本県初の快挙です。受賞作品は、令和7年度の「愛鳥週間用ポスター」として全国に配布されます。

### 1 賞名

公益財団法人日本鳥類保護連盟 総裁賞

### 2 受賞者

前橋市立粕川中学校2年生 松島 遥野(まつしま はるや)さん

### 3 受賞作品及び受賞者コメント

別紙のとおり

### 4 愛鳥週間用ポスター原画コンクールの概要

#### (1) 目的

愛鳥週間用ポスターの制作過程を通じて野生鳥類についての保護思想を高めるとともに、愛鳥週間(毎年5月10日～16日)の普及啓発に努める

#### (2) 応募数

応募総数 33,398点(うち本県1,944点)

学校数 2,847校(うち本県 101校)

受賞作品数 48点(うち本県 1点)

#### (3) 授与式

開催日 令和6年12月11日(水)

開催場所 アークヒルズクラブ37階クラブルーム  
(東京都港区赤坂1-12-32)

# 「令和7年度愛鳥週間用ポスター原画コンクール」 公益財団法人日本鳥類保護連盟 総裁賞 受賞

## 1 受賞者

前橋市立粕川中学校2年生 松島 遥野（まつしま はるや）さん

## 2 受賞作品



### 3 受賞者コメント

僕の祖父は、僕が小さな頃から米を栽培しており、祖父の田んぼは、僕にとって思い出深い場所となっています。

ある日、その田んぼにカルガモの親子が訪れている姿を見ました。

カルガモの親子が仲良く連なって泳いだり水面をつついたりしている様子に、愛おしさを感じ、目を惹きつけられました。

また、人間にとっても野鳥にとってもこのような安らげる場所がこの先もあり続けて欲しいと感じました。

僕が見た風景に僕が感じた感情を込めて、愛鳥ポスターとして描くことにしました。

僕は、このポスターを制作するにあたって、以下のような点を工夫しました。

空の微妙な色の変化。遠くの背景には、空気遠近法を利用し、手前のものに目がいくようにしました。

また、葉やカルガモの羽毛の1本1本の描き込みに神経を使うことはもちろん、水面に反射するカルガモ親子の影や手前の畦は、ピントを少しはずすことにより、主役のカルガモに見る人の視線がいくようにするなど、絵全体として、なるべく妥協をしないように心がけました。

こうしたことで、画面のなかに、カルガモの親子がうまく調和することができたと思います。



松島 遥野さん